

## 災害科学国際研究所リズさんとの講演・討論会(2014. 5.31)

米国、アジアそして阪神淡路大震災の防災研究に取り組んでこられたリズ(Dr. Maly)さんが、4月に東北大学助教として仙台にいられました、これまでの研究成果の講演をして頂きました。来年3月に国連防災会議が仙台で開催されますので、東日本大震災被災地の中心に住む市民として、知り・考え・取り組むべきことをあらためて向き合うチャンスとなりました。



米国 Wisconsin 出身で米国アジアの大災害を研究



31人の多数のメンバーが参加しました。



リズさんを中心に記念写真



三の丸での昼食会には20名を越える盛況でした。

### リズさん勤務の災害科学国際研究所の設立理念

東日本大震災という未曾有の災害を経験した東北大学は、新たな研究組織「災害科学国際研究所」を設立し、東北大学の英知を結集して被災地の復興・再生に貢献するとともに、国内外の大学・研究機関と協力しながら、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進する。

東日本大震災の経験と教訓を踏まえた上で、わが国の自然災害対策・災害対応策や国民・社会の自然災害への処し方そのものを刷新し、巨大災害への新たな備えへのパラダイムを上げる。このことを通じて、国内外の巨大災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことを目標とする。(IRIDeS HP より引用)

<地震、津波、台風、火山等の自然災害から実践的防災学を日本・世界に発信することが期待されます。>

